



# あけの

伊勢市立明野小学校  
 伊勢市小俣町明野 1939  
 校長 伊豆 敏  
 電話 24-5171  
 FAX 24-5172

学校教育目標 「心身ともに健康で、個性豊かな実践力のある子どもを育てる」

～ 固いさつ 図うじ 図んきょう 3つの「あそべ」をがんばろう ～

## ◇1年間ありがとうございました◇

校庭に降り注ぐ柔らかな日差しと、頬に感じるあたたかな風に春の訪れを感じるようになりました。明野小学校の子どもたちは、この1年間、多くの学校行事や児童会行事等を通して大きく成長してきました。また、わからないことを教え合ったり、お互いの考えを認め合ったりして、学び合うことの楽しさも味わってきました。4月には新しい1年生を迎え、学年が1つ上がります。自分や周りの仲間を大切に、これまでに培った力をさらに大きく伸ばして行ってほしいと願っています。

保護者、地域の皆様、この1年間、明野小学校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。そして、平成30年度は、明野小学校は全児童が631人と約40人増え、学級数も通常学級と特別支援学級がそれぞれ1学級ずつ増える予定です。平成30年度もどうぞよろしくお願いいたします。

## ◇卒業式 ～新たな旅立ち～◇ 3月16日(金)

伊勢市長をはじめ、地域の方々や保護者の皆様にお祝いに来ていただき、あたたかな雰囲気の中で素晴らしい卒業式が行われました。75名の卒業生がしっかりとした態度で壇上に上がり、卒業証書を受け取ってくれました。学校長式辞の中では、大きな夢や希望に胸をふくらませ、思いやりと自分で考え行動する気持ちを忘れず、充実した中学校生活を送る事を願って、埼玉県出身の宮澤 章二さんの「行為の意味」という詩を引用してお祝いの言葉を贈りました。

その後、卒業生や在校生の心を込めた呼びかけと歌声が会場に響き渡り、最後は卒業生、在校生が心をついに「ふるさと」を合唱しました。涙を流しながら退場する卒業生の表情には、やり遂げた充実感と、これから大きな夢に向かうしっかりとした決意を感じました。参加した全ての人の心に、思い出に残る感動を残して式は終了しました。卒業生の皆さん6年間、よく頑張りました。そして今まで本当にありがとうございました。(学校長式辞は3～4ページに掲載しています。)



## ◇「私はあかねこ」～自分らしさを大切に～◇

「わたしはあかねこ」 作：サトシン 絵：西村敏雄 出版社：文溪堂

ある日、黒猫のお父さんと白猫のお母さんから子猫が生まれました。

子猫の毛並みは赤色でした。あかねこです。一緒に生まれたほかの子猫たちは、黒猫、白猫、とら猫、ぶち猫でした。お父さんとお母さんはほかの子猫と違う赤い毛並みが心配でたまりません。白いミルクを飲ませたり、黒い魚を食べさせようとしたり、小麦粉をかぶせたり、泥につからせたりして色を変えようとしていました。

しかし、あかねこは自分の毛の色のことなんて全く気にしていません。むしろ、赤い毛並みが大好きでした。なぜ、無理に変えようとするのか全く理解できませんでした。

「優しいみんなは大好きだけれど、私らしさをわかってくれないのは悲しい。」

あかねこはある日、家を飛び出します。そこで、あおねこくんと知り合います。あおねこは、あかねこに言います。「やあ、きみのあかいいけなみ、とってもきれいだね。」・・・(後略)・・・

「私はあかねこ」は、よく読み聞かせに使われる本で、あかねこが自分らしさを大切にしながら、あおねこくんと出会い、小さな幸せをつかんでいくお話です。明野小学校の子どもたちには、あかねこのように自分らしいところをたくさん見つけ、自分を好きになっていってほしいと思います。また、他の人には、あおねこくんのような言葉を言えるようになってほしいと思います。

平成29年度も残すところあと僅かです。自分を大切に、他の人も大切に、4月から始まる新しい学校生活をスタートさせていってほしいと思います。

## ◇修了式・離任式◇ 3月23日(金)

本年度をもって、明野小学校を去られる先生方の離任式を行いました。去られる先生方からお話をいただき、代表の子どもからお礼の花束を贈りました。みんなが感謝の気持ちを込めて花道をつくり、拍手で送りました。なお詳しい転出入につきましては、4月の学校だよりでお知らせします。

## ◇お知らせ◇

### ◎水曜の校時の変更等について(平成30年度分)

平成30年度から水曜日の校時が下記のとおり変更になります。

朝の会	8:15	～	8:25
1限	8:25	～	9:20
2限	9:30	～	10:15
3限	10:25	～	11:10
4限	11:20	～	12:05
給食	12:05	～	12:45
昼休み	12:45	～	13:05
清掃	13:05	～	13:15
5限	13:20	～	14:05
帰りの会	14:05	～	14:10

※これまで、火曜日に実施していました「学力補充日」は第4週か第5週の月曜日に設定する予定です。

### ◎4月の主な予定

5日(木)	入学式前日準備
6日(金)	入学式(新1・5・6年)
9日(月)	着任式 始業式 通学団下校 11:10(教員引率)
10日(火)	2限授業 通学団会 通学団下校 11:20
11日(水)	3限授業 学年下校 11:15
12日(木)	給食開始 通常授業開始
16日(月)	第1回委員会
17日(火)	全国学力学習状況調査(6年) みえスタディチェック(4・5年)
18日(水)	集金日
19日(木)	歯科検診(4・5・6年)
23日(月)	学力補充日 全校下校 14:45
24日(火)	内科検診(6年)
25日(水)	眼科検診(全学年)
27日(金)	心臓検診(1・4年)
28日(土)	授業参観 学級懇談会 PTA総会 ※振替休業日は5月1日(火)

## ◇平成30年度の主な行事予定（5月以降分）◇

〈前期〉

5月 2日（水）遠足  
15日（水）・16日（木）6年修学旅行  
21日（月）～23日（水）家庭訪問  
6月 1日（金）引き渡し訓練  
16日（土）土曜授業（2・3・5年発表）  
25日（月）学校水泳開始  
7月13日（金）5年キャンプ  
20日（金）夏休み前集会  
8月26日（日）PTA奉仕作業  
9月22日（土）運動会  
10月 5日（金）前期終業式

平成30年度の予定は今後、変更する場合があります。日時が近くなりましたら再度ご確認ください。

〈後期〉

10月10日（水）後期始業式  
19日（金）社会見学（5年以外）  
24日（水）6年陸上記録会  
25日（木）6年芸術劇場  
29日（月）5年社会見学  
11月10日（土）文化祭（4年発表）  
15日（木）・16日（金）特別支援交流学習  
12月 5日（水）学校公開デー  
21日（金）冬休み前集会  
1月 8日（火）冬休み明け集会  
2月 1日（金）授業参観  
16日（土）6年生を送る会（1・6年発表）  
3月19日（火）卒業証書授与式  
25日（月）修了式・離任式

## ◇平成29年度明野小学校卒業式 式辞◇ 卒業生の皆さんへ

一雨ごとに増す暖かさに、校庭の木々も少しずつ新しい芽が伸び、私たちの明野小学校にも春の息吹が感じられるようになりました。卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

また、本日の卒業式にあたり、伊勢市を代表して伊勢市長 鈴木健一様、伊勢市議会議員 中山 裕司様、伊勢市議会議員 吉井詩子様、伊勢市議会議員 宮崎 誠様をはじめ、多くの来賓の皆様にご臨席を賜り、あたたかい雰囲気の中で、卒業式が挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

今、75名の皆さんに授与しました卒業証書には、皆さんの六年間の学校生活の歴史と努力、そして、皆さんを色々な面で支えてくださった、ご家族の深い愛情が込められています。そういった意味から、この卒業証書というものは、皆さんと、皆さんを支えてくださったお家の方に贈られているものでもあります。皆さんには、家に帰って、卒業証書を見てもらうときに、一言、「ありがとう」と、感謝の気持ちを伝えてほしいと思います。

さて、皆さんは、この6年間、心も体も大きく成長しました。特に6年生になってから、低学年を連れての通学団登校、みんなが楽しめるよう企画した児童会活動、暑期中、何度も練習した運動会の表現運動、陸上記録会での活躍、そして6年生を送る会での発表等、様々な場面で、最高学年という「自覚」と、他の学年への「思いやり」を持って積極的に活動していました。皆さんの輝く姿が、今も目に浮かびます。

卒業にあたり、皆さんには「思いやり」と「自分で考え行動する」ことの大切さについてお話しします。皆さんはこれまで学校生活の中で、人と考えが違っていたり、上手くいかずに我慢できなくなってケンカをしたり、色々なグループができて、自分がどうしたら良いのかわからなくなったりして、人間関係の難しさを感じる事が多かったと思います。一方で、一人では出来ない事を 仲間が協力してくれたり、大変な時に声をかけてくれたり、寄り添って悩みを聞いてくれたりと、仲間の「思いやり」や「やさしさ」を改めて感じる事もたくさんあった学校生活ではなかったでしょうか。

「『こころ』はだれにも見えないけれど、『こころづかい』は見える。『思い』は見えないけれど、『思いやり』はだれにでも見える」。・・・私たちが決して忘れてはいけない、今から7年前の3月11日に起きた東日本大震災の時、被災地の報道の合間に テレビで流れていたこの詩は、埼玉県出身の宮澤 章二さんの「行為の意味」という詩です。「行為」というのは簡単な言葉でいうと「行い」とか「行動」という意味です。

テレビでは電車に乗ってきた妊婦さんに席を譲る女性を見かけた高校生が、今度は自分が石段を登るお年寄りを見て、一度はその場を通り過ぎるも、あの時、電車の中で声をかけられなかった自分を思い出し、再び戻ってきて、そっとお年寄りを支えるシーンが映し出されていました。その映像は本来、私たち人間のあるべき姿を思い起こさせるものでした。

テレビで流れていた 先ほどのフレーズは、詩の一部分でしかありません。全文はこんな内容です。

「行為の意味」 宮澤 章二

あなたの〈こころ〉はどんな形ですかと、ひとに聞かれても答えようがない。

自分にも 他人にも〈こころ〉は見えないけれど、ほんとうに見えないのであろうか。

確かに〈こころ〉はだれにも見えないけれど、〈こころづかい〉は見えるのだ。

それは 人に対する積極的な行為だから。

同じように胸の中の〈思い〉は見えないけれど、〈思いやり〉はだれにでも見える。

それも人に対する積極的な行為なのだから。

あたたかい心が あたたかい行為になり、やさしい思いが やさしい行為になるとき、〈心〉も〈思い〉も初めて美しく生きる。それは 人が人として生きることだ。

困っている人を見て、一言、声をかけてあげたい。でもそのやさしさを素直に行動に表すことは意外に難しいものです。皆さんが持っている「思いやり」や「やさしさ」は、行動に移して初めて意味のあるものになります。

そして、その時にもう一つ、大切なのが「自分で考え、行動する」ということです。これから皆さんが生きていく時代はどんどん変化していきます。例えば、人工知能やロボットの技術が進んでいけば、今、人間がしている仕事はロボットなどの機械がするようになって、人間が必要とされる仕事はほとんど残されていないかもわかりません。また、東日本大震災のような大きな災害が起きれば、たくさんの人が家族や親せき、友達など、これまで大切にしてきたすべてのものが、一瞬にして、失われてしまうかもわかりません。

でも、どんな時代が来ても、どんな出来事が起きても、私たちに出来る事や、心に大切に持っていなければいけないことは、やはり、人への「思いやり」や「やさしさ」であり、「常に人のために何が出来るかを自分で考え、行動する」ことです。皆さんにとってこれから必要な力は、「言われたことだけを、きちんと実行する力」や「周囲の人たちが敷いたレールの上をひた走る力」ではありません。「思いやり」と「自分で判断し行動する力」です。

皆さんがこれから 色々な人と出会い、接していく中で、みんなで協力しなければならない時や、周りの人が助けを必要としている時に、この話を思い出してください。

いよいよ中学校という、新しいステップです。外国の言葉に「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」という言葉があります。私たちは自分が困った時、誰かのせいにしたたり、過去の出来事を悔んだりすることがよくあります。しかし、いくら他人や過去のせいにしても、現状を変えることはできません。変わるの自分であり、変えられるのはこれからの未来です。これからますます社会が変化していく中で、「自分はどう生きていくのか」が問われます。

皆さんが、新しい友達、先生、先輩等、色々な人と出会ってさらに視野を広げ、夢と希望をもって、充実した中学校生活を送られることを心から願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。お子様が立派に成長されたことを心から、お慶び申し上げます。中学校時代は もっとも多感な時期となります。思春期の子どもをさりげなく見守り、必要なときはそっと支えてあげると、子どもたちは 充実した生活が送れるようになると思います。お子様を立派な中学生にお育て下さい。長い間、本校へのご理解とご協力に感謝を申し上げまして、式辞といたします。

学校の様子「トピックス」や「学校たより（カラー版）」、「年間の行事予定」、「ランチタイム」などは、伊勢市立明野小学校のホームページもぜひご覧ください。